

文化 スペイン



www.spain.info

無料頒布

このパンフレットの内容は細心の注意を払って作成されています。お気づきの点がございましたら、改善のために brochures@tourspain.es までメールでお知らせください。

表紙: セゴビアの水道橋と旅行者
裏表紙: コルドバのメスキータ内部



目次

はじめに	3	現代建築	20
都市	4	世界遺産	21
マドリード		世界遺産都市を訪ねる	
バルセロナ		世界遺産に登録された文化遺産	
バレンシア			
セビージャ		祭りと伝統文化	26
グラナダ		国際観光行事に	
ビルバオ		指定された祭り	
サラマンカ		伝統文化	
サンティアゴ・デ・コンポステーラ			
トレド		フェスティバル	29
美術館博物館	15	演劇	
国立プラド美術館 (マドリード)		音楽	
国立ソフィア王妃芸術センター		映画	
(マドリード)			
国立ティッセン・ボルネミッサ美術館		文化を辿るルート	30
(マドリード)		銀の道	
ビルバオのグッゲンハイム美術館		サンティアゴ巡礼の道	
(ビスカヤ)		ドン・キホーテのルート	
ダリ劇場美術館 (ジローナ)			
アルタミラ国立博物館・研究センター		映画のロケ地を訪ねる	32
(カンタブリア州)		パレード	33
メリダ国立ローマ博物館		知る人ぞ知るスペインの名所10選	34
(バダホス県)			
国立彫刻美術館 (バジャドリッド)			
水中考古学博物館 (ムルシア)			
マラガのピカソ美術館 (マラガ)			

はじめに

数千年の歴史が生み出した文化に浸り、スペインの豊かな芸術に触れてみませんか。

グラナダのアルハンブラ宮殿でアラブ文化遺跡の結晶に出会い、アビラやカセレスを訪れて中世の面影を見つめ、セゴビアの水道橋やメリダの古代ローマ劇場を前に古代ローマ人の英知を体感しましょう。スペインは、ユネスコの世界遺産に登録される文化・自然遺産保有数が世界上位の国です。その証として、スペインにはいくつもの世界遺産都市が存在します。

芸術を鑑賞するなら、スペインの1600館を超える美術館・博物館で、世界的に有名なコレクションに出会うことができます。スペイン美術史の名画が結集するマドリードの国立プラド美術館から、近現代美術をコレクションするビルバオのグッゲンハイム美術館まで、奥深い芸術の世界を堪能しましょう。街の規模に関わらず、スペイン全土でその土地の宝物

のような美術館・博物館が見つかるはずです。

スペインの伝統や大衆文化を間近に体験するなら、地元の人に混じって祭りに参加するのがおすすめです。セビージャのフェリア(春祭り)や、カーニバル、聖週間、バレンシアのファジャ(火祭り)は見逃せません。その他にも、スペイン各地でその土地ならではの祭りが開催されます。

また、スペインでは、音楽祭や演劇祭、映画祭など数多くの祭典が開催されます。様々な場面で、この国の底に流れる文化への情熱を肌で感じることができるでしょう。サン・セバスティアンの国際映画祭Zinemaldia や、ベニカシム国際フェスティバル(FIB)、アルマグロの国際古典劇フェスティバルは特に有名です。夏にスペインを訪れるなら、この季節ならではの野外フェスティバルに足を運ぶのもよいでしょう。

さあ、五感が目覚めるようなスペインの旅へ出発です。

▼ アルハンブラ宮殿
グラナダ



スペインは文化の宝庫です。各地で花開いた独自の文化を探しに出かけましょう。

都市

計り知れない程の文化遺産を抱えるスペイン。各都市を巡りながら、そこでしか出会うことのできない文化を見つけましょう。

マドリード

マドリードでは、それぞれ異なる表情を持つ様々な地区を歩いてみましょう。足を踏み入れた瞬間に多文化都市の空気を感じることでしょう。ラス・レトラス地区では、スペイン文学史上の黄金世紀に活躍した大作家たちの足跡を辿ることができます。19世紀から20世紀にかけての貴族の生活を垣間見るなら、チャンベリ地区を歩きましょう。マドリード・デ・ロス・アウストゥリアス地区では、王宮、王室コレクションギャラリー、アルムデナ大聖堂が集まる一帯には感銘を受

けるはずです。文化や伝統のるつぼであるラバピエス地区や、マドリードを象徴するLGBTQ+フレンドリーエリアとして有名なチュエカ地区での散策もおすすめで

美術館・博物館巡りも外せません。マドリードには、スペインはもとより、世界に名を馳せる数々の名コレクションが集まっています。国立ティッセン・ボルネミッサ美術館や国立ソフィア王妃芸術センター、ソローリャ美術館をはじめ、アメリカ博物館や鉄道博物館、ロペ・デ・

▼ アルムデナ大聖堂、王室コレクションギャラリー、王室
マドリード



ベガ家博物館のようにあるテーマに特化した博物館もおすすめです。マドリードの地元の人のように過ごすには、マタデロ、カサ・エンセンディーダやコンデ・ドゥーケなどの文化センターに足を延ばしてみましょう。マドリードのプラネタリウムと国立自然科学博物館は、子どもと一緒に訪れるのにぴったりのスポットです。

また、ユネスコの世界遺産にも登録されている光の散歩道の散策も楽しみです。この道筋には、プラド通りとブエン・レティロ公園があります。

映画館や劇場では、ブロードウェイのロングランヒット作品が絶えず上演されています。

マドリード近郊にも、ユネスコの世界遺産に登録されているおすすめスポットがたくさんあります。アランフェスでは、王宮を見学したり、美しい庭園をのんびり歩いてみましょう。マドリードの西側、山間部の麓に位置するサン・ロレンソ・デル・エスコリアルでは、壮大な修道院を訪ねることができます。

エル・キホーテの作家として有名なミゲル・デ・セルバンテスの生誕地、アルカラ・デ・エナーレスの大学と歴史地区は見逃せません。



バルセロナ

数多くの観光名所を抱える
地中海の国際色豊かな都市
を余すことなく楽しみま
しょう。



バルセロナ市街地は、古代ローマ遺跡や中世の趣を残す地区、20世紀の前衛芸術の傑作など、様々な魅力が満ちています。

カタルーニャ州の州都であるバルセロナは、モデルニスモ芸術の街としてとりわけ有名です。アントニ・ガウディの傑作群を鑑賞することができ、なかでもサグラダ・ファミリアは、世界的に有名なバルセロナのランドマークです。塔に登り、美しい街並みを見渡してみましょう。アシャンプラ地区の中心、グラシア通りでは、「ペドレラ(採石場)」の名で親しまれるカサ・ミラ(ミラ邸)が波のような美しい曲線を描いて佇み、カサ・バトリョ(バトリョ邸)は独創性と色彩にあふれるファサードを呈し、カサ・ビセンス(ビセンス邸)が緑と白のタイルに飾られた外壁をきらめかせています。

▼ カサ・バトリョ(バトリョ邸)
バルセロナ



自然と建築を融合させる遊び心に満ちたガウディの世界に更に浸るなら、グエル公園に立ち寄ってみましょう。

モデルニスモ芸術の街、バルセロナの見どころは、ガウディの作品に留まりません。建築家ルイス・ドメネク・イ・モンタネルが手がけ、ユネスコの世界遺産にも登録されているサン・パウ病院やカタルーニャ音楽堂もまた、モデルニスモ建築の傑作として有名です。

さらに、バルセロナは大小様々な美術館・博物館の宝庫です。国立カタルーニャ美術館やピカソ美術館では、世界屈指の美術作品に出会えるだけでなく、この土地と芸術の関わりに触れることができます。カイシャ・フォーラムなどの文化センターでは、興味をそそる展示や体験型アクティビティなど、様々なイベントに参加してみましょう。

バルセロナ近郊の他の街にも足を延ばしてみませんか？たとえばジローナでは、古代ローマ時代のフォルサ・ベジャ要塞と、中世の城壁跡を巡りながら、二千年を超える街の歴史を感じることができます。ポルトリガットには、ダリ家美術館があります。ガロッチャ地方では、のどかな自然景観と、中世の趣を残す小さな村々を訪ねましょう。ピレネー山脈が連なるジェイダ県のセオ・ドゥルジェイでは、ロマネスク様式の大聖堂が佇む美しい歴史地区の散策がおすすめです。古代ローマの遺産は、イタリア半島外に初めて建設された軍事都市として有名な、タラゴナにも残っています。円形競技場や円形劇場は、古代ローマ時代の繁栄を物語る重要な文化遺産です。

▼ 国立カタルーニャ美術館(MNAC)
バルセロナ



▼ ジローナ





▲ 芸術科学都市
バレンシア

バレンシア

歴史地区で遠い昔の足跡を探しながら散策に夢中になったり、前衛建築の迫力に思わず息を吞んでしまう街、バレンシア。

まずは、エル・ミゲレテの塔名で親しまれる鐘楼が特徴的な、ゴシック様式の大聖堂をじっくりと見学しましょう。

旧市街の中心にあるロンハ・デ・ラ・セダ(旧絹交易所)に立ち寄り、世界遺産にも登録されているヨーロッパを代表する美しさのゴシック様式の民間建築のひとつを鑑賞するのもおすすめです。バレンシア自治州政府の官庁であるパラウ・デ・ラ・ジェネラリタや音楽堂、バレンシア現代芸術院 (IVAM)、バレンシア美術館、国立陶器美術館も見ごたえのある建造物です。

科学と文化の普及を目的としてつくられたヨーロッパ最大規模の複合施設、芸術科学都市は是非訪れたいスポットです。目の形をしたシアターであるレミスフェリックや、ヨーロッパ最大の水族館オセアノグラフィックなど、迫力ある前衛建築に目を奪われることでしょう。

コントラストに満ちたバレンシアは、まさに地中海の真髄です。



▲ ミゲレテの塔
バレンシア

バレンシアから少し足を延ばせば、ブニョールやレケナ、シャティバ、古代ローマ劇場を抱えるサグントなど、趣のある町を訪ねることができます。

セビージャ

長い歴史を誇る街、セビージャを訪ねましょう。大モスクに起源を持つ大聖堂は、圧倒的な存在感を放ちます。ヒラルダの塔の名で親しまれる鐘楼から見渡す街の全景は忘れられない思い出となるでしょう。スペイン広場やアルカサル、マリア・ルイサ公園も、セビージャ散策には欠かせないスポットです。文化に深く入り込むなら、セビージャ美術館やアンダルシア近代美術センターがおすすめです。中世から現代までの名作を鑑賞することができます。

セビージャの厚い信仰心とこの土地の風習を間近に感じるなら、セマナ・サンタ(聖週間)を見に行ってみましょう。厳粛な雰囲気の中で行われる宗教行列からは、この地で脈々と受け継がれる情熱が伝わってきます。カセータと呼ばれる仮設小屋で音楽・食・踊りを満喫することができるフェリア(春祭り)もおすすめです。

セビージャ近郊を巡るなら、カルモナや、オスナ、コンスタンティーナ、エシハへ足を延ばしてみるのもよいかもしれません。また、コルドバは必見の観光スポットです。絵画のような風景が広がる歴史地区を歩いたり、イスラム芸術の傑作であるこの街の至宝メスキータ大聖堂を見学しましょう。カディスでは、カーニバルを楽しんだり、迷路のように細く入り組んだ路地や、小さな広場が美しい旧市街を散策することができます。

ヒラルダの塔
セビージャ





▲ サン・ニコラス展望台
グラナダ

まるで千夜一夜物語から抜け出したかのようなこの街を散策しませんか。800年近くに及んだイスラム時代は、グラナダに**アラブ文化**の豊かな遺産を色濃く残しました。

グラナダ

旧城塞や要塞、ナスル朝のスルタンの宮殿として使用されたアルハンブラ宮殿はアルバイシン地区とともにこの街で世界遺産に登録されている場所でもあり、グラナダで最も重要な文化遺産といえるでしょう。いくつもある宮殿を見学したり、ヘネラルIFEの庭に代表される庭園で、泉や池が織りなす涼しげな風景を眺めてみませんか。

さらに、グラナダの大聖堂やカルトゥハ修道院、科学博物館もおすすめのスポットです。

車で1時間半ほど行くと、画家パブロ・ピカソ生誕の地であるマラガを訪れることができます。ピカソ美術館で天才画家の生涯と作品群に触れてみませんか。陽気で賑やかなこの街には、アルカサバやヒブラルファロ城など、街の景色を見渡せるスポットもあります。

ビルバオ

見事な**都市開発**によって、工業都市から人気の観光地へと変貌した街、ビルバオを訪れてみましょう。この街に再生の息吹を吹き込んだ**グッゲンハイム美術館**は、建築家**フランク・ゲーリー**が手がけた、チタンの外壁が印象的な建築物です。

その他にも、**サンティアゴ大聖堂**、**エウスカルドゥナ音楽堂**や建築家**ノーマン・フォスター**が手がけた**地下鉄**など豊かな建築遺産に触れることができます。

北スペインの旅を更に楽しむなら**ドノスティア=サン・セバスティアン**や**サンタnderル**、**ビトリア=ガステイス**など、洗練された美しさが溢れる近郊都市を訪ねてみましょう。



マヨール広場
サラマンカ

サラマンカ

文化に浸ることができる街、サラマンカ。スペインでも最も長い歴史を持つ大学のひとつに数えられるサラマンカ大学を訪れてみましょう。プラテレスコ様式のファサードは圧巻です。ユネスコの世界遺産にも登録されている旧市街を散策しながら、その壮大な歴史的建造物の数々を鑑賞してください。

大聖堂、貝の家、クレレシア（旧神学校）、ラス・ドゥエニャス修道院、アールヌーボーとアールデコ美術館=カサ・リス、マヨール広場を巡り、街の長い歴史を紐解いてみませんか。

サラマンカ近郊には車で1時間ほどの距離には、中世の城壁が見事な**アビラ**、壮観なローマ水道橋が有名な**セゴビア**、旧市街のルネッサンス建築が美しい**バジャドリ**や数多くのロマネスク建築を抱える**サモラ**などの魅力的な街があります。



サモラ



セゴビアの水道橋



▶ サンティアゴの大聖堂
サンティアゴ・デ・コンポステーラ

サンティアゴ・デ・ コンポステーラ

国際色豊かなガリシア州の州都サンティアゴ・デ・コンポステーラへ、長い歴史の中で培われた文化の結晶を探しに行きましょう。ユネスコの世界遺産に登録されているこの街の旧市街は、スペインで最も美しい歴史地区のひとつと称されています。

サンティアゴ・デ・コンポステーラ大聖堂は、スペイン・ロマネスク芸術の代表例であるとともに、毎年世界中から何十万人もの人が歩きにくるサンティアゴ巡礼路の最終目的地でもあります。

旧市街を散策するなら、サンタ・マリア・ラ・レアル・デル・サル教会やガリシア民族博物館、レジェス・カトリコス救護院（現在のパラドール）、カサ・ド・カビルド（参事会館）、ガリシア近代美術センター（CGAC）は、見逃せないスポットです。

ビゴ、オウレンセ、ポルトマリンなどの近郊都市もおすすめてです。



▲ エル・アルカサル
トレド

トレド

キリスト教、イスラム教、ユダヤ教の文化が交差した歴史を最も色濃く残す町、トレド。世界遺産に登録されている旧市街に足を踏み入ると、野外博物館にいるかのような感覚に圧倒されることでしょう。様々な美術様式が共存するこの街では、プリマダ大聖堂のような教会やモスク、そしてサンタ・マリア・ラ・ブランカなどのシナゴグと並んで邸宅や要塞がつくり出す趣のある街並みはこの町ならではの風景です。エル・グレコ美術館を訪ねて、画家の代表作を鑑賞するのもよいでしょう。司教座美術館でも、エル・グレコの作品が展示されています。

トレド近郊にもタラベラ・デ・ラ・レイナやオカーニャ、オロペサといった数々の歴史的建造物を抱える町があります。



▲ コンスエグラ城
トレド

美術館 博物館

スペインは世界でも有数の美術館・博物館数を誇ります。その数は1600館を超え、充実したコレクションを所蔵しています。スペインを代表するいくつかの美術館・博物館をご紹介します。

国立プラド美術館 (マドリード)

スペインで最も有名な美術館です。その入館者数は年間300万人近くを誇り、国際的にも高い評価を受けている美の宝庫です。世界最大のスペイン絵画コレクションと、ヨーロッパ美術における重要なコレクションを所蔵しています。

ディエゴ・ベラスケスの『ラス・メニーナス』(女官たち)やエル・グレコの『胸に手を置く騎士』、ボッシュの『快樂の園』といった名作を鑑賞することができます。



国立プラド美術館
マドリード

国立ソフィア王妃芸術 センター(マドリード)



現代美術のコレクションにおいて、ヨーロッパ最大規模を誇る美術館です。この美術館の代名詞ともいえるパブロ・ピカソの『ゲルニカ』はモダンアートとスペインの歴史を象徴する大作です。その他にも、ミロやダリ、タピエス、フアン・グリス、ルネ・マグリット、チジーダなど、素晴らしい芸術家たちの作品を所蔵しています。

国立ティッセン・ ボルネミッサ美術館 (マドリード)



13世紀の西洋絵画から、19世紀と20世紀を代表するコレクションを鑑賞することができます。ティツィアーノやルーベンス、レンブラント、カラバッジョ、セザンヌ、モネ、ヴァン・ゴッホ、ピカソ、クレー、カンディンスキーの世界を楽しみましょう。



ビルバオのグッゲンハイム美術館 (ビスカヤ)

前衛建築の美術館は、現代美術の名コレクションを鑑賞するのにぴったりの空間です。マーク・ロスコやホルヘ・オテイサ、イヴ・クライン、ジャック・リプシッツといった世界に名だたる芸術家たちの作品を堪能できます。

ダリ劇場美術館 (ジローナ)

サルバドール・ダリ生誕の地である美しい町フィゲラスで、画家の軌跡を辿りましょう。初期の作品をはじめ、シュルレアリスムを代表する芸術家到大成してから作品まで、ダリ独特の世界をたつぷりと堪能することができます。

ダリ劇場美術館
フィゲラス





アルタミラ国立博物館・ 研究センター (カンタブリア州)

スペインを代表する洞窟壁画の世界に迫りましょう。アルタミラ洞窟の壁画は、1万8000年前ほどに描かれました。オリジナルの壁画は保護のため入場制限がされていますが、原寸大のレプリカを鑑賞することができます。



メリダ国立ローマ 博物館 (バダホス県)

いにしえの時代へと旅に出ましょう。紀元前25年にローマ帝国初代皇帝であるアウグストゥスによって築かれたこの街に、如何にして古代ローマ人はその足跡を遺したのかに迫ります。

国立彫刻美術館 (バジャドリド)

中世から19世紀にかけてのスペイン彫刻の名作の数々を間近で見ながら、この美術館がおすすめです。同じ通りのサン・グレゴリオ大学、ビジェナ宮殿、カサ・デル・ソルの3つの建物に展示場が分かれており、15世紀から18世紀にかけてのスペインを代表する数々の宗教木像彫刻家の作品を鑑賞できます。

▲ 国立彫刻美術館
バジャドリ

水中考古学博物館 (ムルシア)

壺、皿、槌や御守りなど、水中の遺跡から発見された出土品を見てみませんか。

この博物館ではこのような珍しいコレクションを所蔵しています。世界でもここでしか見ることのできない、フェニキア文字が記された象牙に驚くことでしょう。

マラガのピカソ美術館 (マラガ)

マラガ出身のピカソによって作品を地元に残したいというたつての希望によ

り実現した美術館です。ピカソ作の200点に及ぶ作品が常時展示されています。

有名な美術館・博物館をいくつかご紹介しましたが、この他にもたくさんのお見どころがあります。マドリードのラサロ・ガルディアーノ美術館、王立コレクションギャラリーやソロージャ美術館、バレンシアの現代美術館(IVAM)や科学博物館、バルセロナの現代美術館(MACBA)やジョアン・ミロ財団、サントンデールのボティンセンター、ブルゴスの人類進化博物館、セビージャのセビージャ美術館などもおすすめです。

現代 建築

スペインには、素晴らしい現代建築が数多く存在します。フランク・ゲーリーやレンゾ・ピアノ、ユルゲン・メイヤー、サンティアゴ・カラトラバといった著名な建築家がこの国に美しい作品を残しています。

フランク・ゲーリーが設計したグッゲンハイム美術館ビルバオは、この街のランドマークになっています。チタン製の外壁は移ろう太陽の光を浴びて表情を変え、ネルビオン川に反射するその姿は魅力的です。平らな面がひとつもないということも、この建築物の興味深い点です。美術館の前ではジェフ・クーンズによる、犬をモチーフにしたトピアリー彫刻の「パピー」が来場者を出迎えます。

エルシエゴ（アラバ県）には、同じくフランク・ゲーリーが手がけた「ワインの町」があります。150年以上の歴史を持つ老舗ワイナリーが前衛建築に生まれ変わり、まるで地面から伸びるブドウの蔓のように、周辺に広がるブドウ畑に溶け込んでいます。ワイナリー見学や試飲はもちろん、宿泊も可能です。建物内部には、ホテル、二軒のレストラン、ワインセラピーを受けられるスパ、会議場を併設しています。

カスティージャ・イ・レオン現代美術館(MUSAC)は、レオンの街を代表する観光スポットのひとつです。このキューブ形の独特な建物は、2007年にミース・ファン・デル・ローエ賞に輝きました。ファサードを彩るカラフルなガラスは、ステンドグラスで有名なレオン大聖堂へのオマージュです。

セビージャのエンカルナシオン広場には、「セビージャのキノコ」の名で親しまれる、ドイツ人建築家ユルゲン・メイヤーが手がけたメトロポール・パラソルが建っています。世界最大の木造建築であり、五階建ての内部には、アンティークアリウム、市場、イベント会場があります。歩道橋兼展望台からは、街の眺望を見渡すことができます。

サンタンデル湾に突き出したユニークな建物を見に行きませんか。プリツカー賞受賞者であるイタリア人建築家レンゾ・ピアノによる建築です。文化センターとしての役割を持つこのセントロ・ボティンを訪れて、屋上から街の眺めを楽しみましょう。

カスティージャ・イ・レオン現代美術館(MUSAC)
レオン
写真: villorejo99/123rf.com



世界 遺産

スペインには数えきれない文化遺産があります。この事実は、世界遺産保有数が世界トップクラスであることから見て取ることができます。サンティアゴ・デ・コンポステーラやトレド、タラゴナに留まらないスペインの文遺産の魅力を探しに行きましょう。



▲ アルカラ・デ・エナーレスのパラドル
マドリッド州



▲ コルドバのメスキータ内部

世界遺産都市を訪ねる

豊かな文化を求めてスペインを旅するなら、世界遺産都市を訪ね歩くのが一番です。世界に誇る建築、芸術、文化を育み続ける、素晴らしい街がいくつもあります。

アルカラ・デ・エナーレス

『ドン・キホーテ』の著者セルバンテスが生まれたこの街では、作家の家やヨーロッパ最古のコラール・デ・コメディアス(昔の大衆劇場)、歴史ある大学を巡りましょう。

アビラ

12世紀に建てられた城壁の存在感は現在も衰えず、旧市街に残るルネッサンス様式の邸宅や教会群は旅人を中世へと誘います。

バエサ

16世紀のスペインを代表する民間建築群と、ルネッサンス様式の都市景観のなかを散策することができます。

カセレス

立ち並ぶ家々と要塞宮殿の間を縫うように中世の街を彷彿とさせる石畳の細長い路地を彷徨うと、この地を踏みしめた様々な文化の面影が浮かび上がってきます。

コルドバ

メスキータ大聖堂とその周辺に位置する旧市街に足を踏み入れると、アラブ文化が花開いた時代のスペインを肌で感じることでしょ。

クエンカ

城塞都市の趣を残す歴史地区と、自然と完璧に融和した観光名所「宙づりの家」が作り出す景観は、インパクト抜群です。



▲ 宙づりの家
クエンカ



ロス・ミラグロス水道橋
メリダ

メリダ

古代ローマ時代に繁栄を極めたこの街には、ローマ劇場や円形劇場、ローマ闘技場など数多くの遺跡を訪れることができます。

サラマンカ

スペインで最も美しいと称されるルネッサンス様式の街並みを散策しましょう。その豊かな歴史遺産を愛でながら、サラマンカ大学エスクエラス・マヨールス館のファサードに彫られた彫刻から有名なカエルを見つけてください。

サン・クリストバル・デ・ラ・ラグーナ

カナリア諸島のテネリフェ島に位置する色彩豊かな街では、ひと昔前へタイムスリップしたかのような感覚を味わうことができます。壮観な大聖堂や、17世紀から18世紀にかけて建てられた数々の邸宅が、典型的なコロニアル風の街並みに溶け込んでいます。



サラマンカの大聖堂

セゴビア

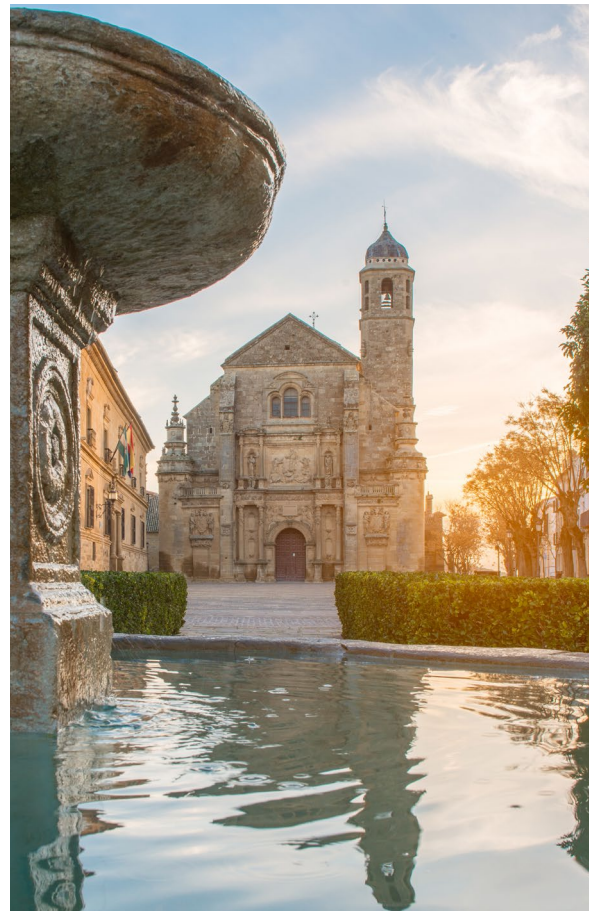
旧市街の路地を散策し、ヨーロッパで最高の保存状態を保つ古代ローマの水道橋を探しに行きましょう。大聖堂とアルカサルも是非訪ねてみたい見どころです。

ウベダ

ヨーロッパを代表するルネッサンス建築群を堪能しませんか。邸宅や塔をじっくりと見て回りましょう。

イビサ/エイヴィッサ

バレアレス諸島のイビサ島の市街地はユネスコの世界遺産に登録されており、ダルト・ヴィラの愛称で親しまれています。旧市街を取り囲むルネッサンス様式の城壁は、16世紀オスマン帝国からの攻撃に備えて街を守るために建設されました。



▲ サルバドル教会
ウベダ (ハエン県)

▼ イビサ/エイヴィッサ



世界遺産に登録された文化遺産

メリダの遺跡群に代表される民間建築から、ブルゴスの大聖堂やグアダルupesのサンタ・マリア王立修道院（カセレス県）に代表される宗教建築まで、あらゆる文化遺産をご紹介します。

いにしえのスペインへ旅に出ましょう。サン・ミジャン・デ・コゴージャ（リオハ州）のユソ・イ・スソ修道院は、スペイン語の発祥地として知られています。アタプエルカの考古遺跡（ブルゴス県）では、先史時代を体感することができます。

好きな時代にタイムスリップしてみましょ。

さらに、サラゴサの中心地にあるアラブ文化の結晶として名高く、アラゴン州のイスラム建築を代表するアルファヘリア宮殿やセビージャの大聖堂、アルカサル、インディアス古文書館、ルゴの古代ローマの城壁など見どころは尽きません。



ブルゴスの大聖堂

祭り と伝統文化

スペインでは、パンプローナのサン・フェルミン祭(牛追い祭り)のように世界的に有名なものをはじめ、年間を通じて各地で様々な祭りが開催されます。フラメンコやタパス(一口おつまみ)といった、スペインならではの伝統文化に触れることができます。祭りを通して、スペインを楽しみ、感じ、体験してみましょう。

国際観光行事に 指定された祭り

スペインには国際観光行事に指定された80を超える祭りがあります。どの祭りに行ってみたいですか？いくつかの代表的な祭りをご紹介します。

カーニバル

2月は、スペインの街角が色彩と喜びに溢れるカーニバルの季節です。サンタ・クルス・デ・テネリフェのカーニバルは特に有名です。女王と呼ばれる祭りの主人公を選ぶ式典では、豪華な衣装の数々に思わず息を呑むことでしょう。カディスのカーニバルでは、コンパルサと呼ばれる仮装行列やコーラス、チリゴータと呼ばれる皮肉や批判を詰め込んだユーモラスな歌を楽しむことができます。ムルシア地方のアギラスのカーニバルでは、紙吹雪が入った卵を使う伝統的な卵投げに参加し、バダホスのカーニバルでは祭りの締めくくり「イワシの埋葬」でイワシの丸焼きとワインを堪能しましょう。

火祭り

3月にバレンシアで開催される火祭りに参加し、喜びと熱気に包まれる伝統行事を体験しましょう。木材と厚紙で作られる大小様々な張り子人形(ファジャ)は800体を超え、その迫力はもちろん、風刺のきいたデザインが見る者を楽しませます。街中に展示された後、祭りのフィナーレで豪快に焼かれる様子は圧巻です。火薬の匂いや、街を練り歩く賑やかな楽団、伝統衣装を身にまとった人々のパレードが世界無形文化財にも指定されたこの祭りを更に盛り上げます。





▲ セビージャのセマナ・サンタ(聖週間)

セマナ・サンタ(聖週間)

春の到来とともに、スペインは聖週間の雰囲気になります。宗教と伝統、芸術が強く結び合う、スペインで最も古く、存在感のある祭りです。スペイン各地で開催されるこの祭りは、どれも感動的なものです。なかでもセビージャの聖週間は特に有名です。明け方に行われる有名な宗教行列「マドゥルガ」では、キリスト像が通るたびに街が熱気に包まれます。

カスティージャ・イ・レオン州ではアビラ、レオン、メディーナ・デル・カンポ、メディーナ・デ・リオセコ、パレンシア、サラマンカ、バジャドリ、サモラの聖週間が有名です。これらの聖週間では、芸術性の高い彫刻が目を引きます。アリカンテ地方のエルチェで行われる枝の主日の宗教行列も見ごたえがあります。数千人の参加者が美しく編まれたヤシの枝を持って列をなす様子は圧巻です。カランダ、エジンやムラなどの町では太鼓が主役となり、何時間にもわたって数千もの太鼓が響き渡ります。

フェリア(春祭り)

4月のセビージャは、朝から晩まで華やかな祭りの雰囲気に包まれます。祭り

会場にはカセータと呼ばれる仮設小屋がどこまでも立ち並び、そこからは音楽と楽しそうな笑い声が聞こえてきます。美味しい料理にはシェリー酒、もしくはレブヒート(マンサニージャという白ワインのソーダ割り)をお供にご機嫌な宴が続きます。アンダルシア名物の「ペスカイト・フリート」(魚のフライ)やブニュエロ(揚げ菓子)を食べて、騎手や馬車の行進を楽しみましょう。

サン・フェルミン祭(牛追い祭り)

7月6日から14日まで、パンプローナでは牛が主役の祭りが開催されます。朝8時に行われるエンシエロ(牛追い)の緊張感と高揚が、朝から晩まで街中にあふれる活気と一つになるとき、祭りの盛り上がりは最高潮に達します。飲んで、踊って、野外コンサートやパレードにくり出し、花火を眺めて、地元の人と一緒に祭りを楽しみましょう。

トマティーナ(トマト祭り)

参加者がトマトを投げつけあうこの祭りは、バレンシア県のブニョールで開催されます。8月の最終水曜日に行われる、活気に満ちた“野戦”を体験してみましょう。

伝統文化

地方色豊かな祭りに加えて、スペインには数百年の歴史を誇る伝統文化があります。

フラメンコ

タブラオと呼ばれるショーケースで、見る者を魅了してやまないフラメンコを鑑賞しましょう。ギターの音色と絶妙なパルマ(手拍子)、歌い手の深みのあるしゃがれ声が相まって生まれる音楽は、一度耳にすると忘れられないほどの感動を与えます。サパテオと呼ばれる足さばきや表現力豊かな踊りを見れば、フラメンコの世界にすっかり引き込まれてしまうことでしょう。世界無形文化遺産にも登録されているこの民族舞踏から伝わる情熱を間近に感じてみませんか。

カステルス(人間の塔)

六段から十段にもなって重なる人間の塔カステルスは、空に届きそうなほどの高さと迫力があります。二百年以上の歴史を持つこの伝統文化は、今もな代々受け継がれるカタルーニャ地方のシンボルです。

タパス

タパスの食べ歩きは、スペインならではの食文化です。一口サイズでスペインの大衆文化の真髄を肌で感じ、舌で味わうことができます。どこの街にも必ず、タパス専門のバル(立ち飲み居酒屋)があります。最高品質の生ハムのハモン・デ・ベジョータや定番のトルティージャ(スペイン風オムレツ)から、高級料理のように手の込んだ一品まで、その種類は豊富です。



フェスティバル

スペインでは各地で演劇や音楽、映画など様々なジャンルのフェスティバルが開催されます。

▲ メリダ古典演劇祭

演劇

古典劇においてスペインで最も古く、最も重要なメリダ古典演劇国際フェスティバルでは、ローマ劇場の階段席に腰かけ、星空の下で観劇を楽しみましょう。毎年7月から8月にかけて開催されています。16世紀から17世紀の演劇をテーマとするアルマグロ古典劇国際祭も見逃せません。カスティージャ-ラ・マンチャ地方にある、長い歴史を持つ街アルマグロで、毎年7月に開催されます。

音楽

ジャズの世界に酔いしれるなら、ヨーロッパで最も長い歴史を持つジャズフェスティバルのひとつである、グラナダ国際ジャズフェスティバルに参加しましょう。ポップやロック、インディーズ、エレクトロを聴くなら、スペイン最大規模の国際フェスティバルのひとつであるベニカシムFIBがおすすめです。毎年7月にカステジョン県のベニカシムで開催される野外音楽フェスティバルで、思い出に残る夏を過ごしましょう。

スペイン国外のポップやロックを堪能するなら、7月上旬にビルバオで開催される、**Bilbao BBK Live**を訪れましょう。同じく7月には、ア・コルーニャで開催されるオルティゲイラ・フェスティバルでケルト音楽の世界に浸ることができます。

映画

ヨーロッパで最も権威のある映画祭のひとつサン・セバスティアン国際映画祭Zinemaldiaで、第七芸術と称される映画を楽しみましょう。この映画祭のレッドカーペットを、オードリー・ヘップバーンなどの数々の映画スターたちが歩いてきました。

スペイン映画の世界に浸るなら、3月もしくは4月に開催されるマラガ映画祭がおすすめです。カタロニアのシッチェス国際映画祭はファンタジー映画に特化した、世界でも権威のある映画祭のひとつです。

文化を辿るルート

スペインをさらに深く身近に感じることができる、文化が詰まったルートを歩きましょう。

銀の道

スペインの南北を結ぶ古代ローマの歴史あふれる街道を辿りましょう。900kmほどにもわたるこのルートでは、重要な文化遺産や美しい眺めを堪能しながら多様な食文化を体験できます。

セビージャとヒホンを結ぶこのルートは、メリダやカセレス、ベハル、レオンなどの歴史のある町々を通ります。

▼ 古代ローマの石畳
メリダ



サンティアゴ巡礼の道



サンティアゴ巡礼の道は、生涯の思い出になるほど、魅力に溢れたルートです。様々なコースを通りながらスペイン北部を満喫することができるこの巡礼路の最終目的地は、ガリシア州にあるサンティアゴ・デ・コンポステーラ大聖堂です。ここには、聖ヤコブ(スペイン語ではサンティアゴ)の墓があります。

宗教またはスピリチュアルな目的で巡礼を行った人に渡されるコンポステーラ(巡礼証明書)を獲得するには、徒歩もしくは騎馬で最後の100 km、自転車では200 kmを完遂することが条件です。

ドン・キホーテのルート

セルバンテスの名作『ドン・キホーテ(*El ingenioso hidalgo don Quijote de la Mancha*)』の主人公が旅したルートを小説に登場する小さな村々や古い歴史のある通り、有名な風車、自然景観を眺めながら辿ってみませんか。

道中立ち寄るなら、トレドやカンポ・デ・クリプターナ、エル・トボソ、アルマグロ、カンポ・デ・カラトラバ、アルマシージャ・デ・アルバなどがおすすめです。

文化を巡るルート



映画のロケ地を訪ねる

▲ リアル・アルカサル内部
セビージャ

多くの映画がスペインを舞台に撮影され、その撮影地は観光スポットになっています。ガイドツアーに参加すれば、それらのロケ地を気軽に巡ることができます。

アルメリアの砂漠では数多くの西部劇が撮影されました。クリント・イーストウッドの足音が今にも聞こえてきそうなこの街では、かつての撮影所を見学することができます。また、この街にある砦アルカサバでは、「インディー・ジョーンズ/最後の聖戦」と007シリーズ「ネバーセイ・ネバーアゲイン」の2本の大作が撮影されました。

また、セビージャも映画ファンにはたまらない旅先です。スペイン広場を「スター・ウォーズ」のアミダラが歩き、アルカサルとイタリカ遺跡では、「ゲーム・オブ・スローンズ」の重要なシーンが撮影されました。この人気テ

レビドラマシリーズの撮影では、ジローナやアルメリア、ペニスコラ、ナバーラ州のラス・バルデナス・レアレスなどがロケ地として使われています。

カスティージャ-ラ・マンチャ州では、スペインを代表する映画監督、ペドロ・アルモドバルの軌跡を辿ることができます。シーンの背景を彩った美しい自然景観を訪れるなら、アストゥリアス州のジャネス市の映画ルートや、カンタブリア州のコミージャス市の映画ルートがおすすめです。

カナリア諸島フエンテVENTOURA島に広がる月面の砂漠のような光景は、リドリー・スコット監督の「エクソダス：神と王」やロバート・ゼメキス監督の「アリアンヌ」の撮影に使用されました。この島の南部は「スター・ウォーズ」のロケ地にも選ばれています。

パラドール

パラドールはただの宿泊施設ではありません。スペインの魅力を優雅に体験することができ、景勝地や歴史的背景を持つ土地に建つ特別な場所です。その多くは、古城、宮殿、修道院など、貴重な建造物を利用しています。なかには、近代的な建物を使用している施設もありますが、どちらにしても上質なサービスと快適な設備が整っています。

現在、スペインには100軒近くのパラドールがあります。パラドールに滞在し、歴史を間近に感じてみませんか。詳しい情報は次のサイトで調べることができます。

① www.parador.es



▲ カルモナのパラドール
セビージャ県

知る人ぞ知るスペインの名所10選

スペインは秘宝に満ちています。素晴らしい文化的価値を秘める10のスポットを訪ねましょう。



▲ バレンシアの大聖堂

フエンテ・デル・レイ (コルドバ県プリエゴ・デ・コルドバ)

バロック様式の美しい泉があります。139個もの放水口から清々と流れ出る水が、3つの細長い泉を満たします。水の音を聴きながら、中央に置かれた馬車に乗ったネプチューンとアムピトリテの像をゆっくりと眺めましょう。

インファンタード宮殿(グアダラハラ)

メンドーサ公爵家の旧邸を訪れましょう。15世紀半ばのゴシック様式と16世紀のルネッサンス様式が融合しており、ムデハル様式の装飾も数多く取り入れられています。

パレンシアの大聖堂

「知られざる美女」と称されるこの大聖堂は、フランボワイアン様式の外観と、イサベル様式、プラテレスコ様式、ルネッサンス様式で飾られた内部が見事です。

セナルーサ修道院(ビスカヤ県)

シオルツァ=ボリバールから数キロほどの地にあるこの修道院は、中世においてサンティアゴ巡礼路の重要な中継地としての役割を担っていました。15世紀のゴシック・ルネッサンス様式の美しい教会や回廊を鑑賞しましょう。

アルカサルのセビージャ門(カルモナ)

紀元前9世紀にカルタゴ人によって建設が始まり、ローマ人によって引き継がれた建造物です。主塔や黄金の塔、雨水貯めなど砦ならではの構造が残っています。

サモラの大聖堂

スペイン・ロマネスク建築の代表的な建築物です。その内部では、数多くの芸術作品を見ることができます。



▲ サモラの大聖堂

タウールのサン・クレメンテ教会 (ジェイダ県)

11世紀から12世紀にかけて建てられた美しい教会です。ユネスコの世界遺産に登録されているボイ谷のロマネスク教会群のシンボルとなっています。

アストルガの司教館(レオン県)

のこぎり壁や展望台、建物を取り囲む堀を前にすると、まるでおとぎ話に出てくる城に入城するかような気分になるでしょう。新ゴシック様式を取り入れたモデルニスモ建築は天才建築家ガウディの作品で、現在はサンティアゴ巡礼路博物館の本部が置かれています。



▲ 司教館
アストルガ

カニャスのシトー会修道院(リオハ州)

スペインで最も古い修道院のひとつを訪ね、ゴシック様式の美しい教会をじっくりと見学しましょう。1170年より、この修道院では禁域生活を送る修道女たちが暮らしています。

サン・フアン・デ・ドゥエロ修道院 の回廊(ソリア県)

中世カトリック建築を代表する建築物です。回廊を飾るアーチには、ロマネスク様式やゴシック様式、イスラム様式といった当時の建築様式の縮図を見取することができます。



▲ サン・フアン・デル・ドゥエロ修道院の回廊
ソリア



X @spain

Instagram @spain

Facebook Spain.info

YouTube /spain

TikTok @visitSpain